

編集後記

編集長 藤本 健太郎

地球温暖化による異常気象、戦争、子どもの減少など暗いニュースが連日流れています。

今年4月には平均世帯人員が近い将来に2人を割り込むという推計が公表され、社会に衝撃を与えました。今回の紀要に掲載した論文の1本は訪問看護事業を取り上げたものですが、家族がどんどん小さくなり、一人暮らしの高齢者はさらに増加すると思われ、在宅ケアはさらに厳しい状況に置かれます。訪問看護における統合ケアの質の向上は重要な政策課題であり、時宜を得た研究だといえます。

もう1本の論文は"sin goods"に関する研究ですが、酒やタバコ、さらには最近になって依存症と捉えられるようになったゲームにはまることは、あるいは悪いニュースばかりの現実社会からの逃避かもしれせん。中毒性のある財の需要を減少させるための研究は、現代社会の要請に応えるものです。

今後も本紀要において、社会のニーズに応えるような研究成果を発信することができればありがたいと考えています。